

東日本大震災 草の根支援組織応援基金

第5回配分団体一覧

第5回目にあたっては、弊協会会員である育英事業を行う奨学財団からの寄附金をもとに、東日本大震災の被災により就学などが困難となった高校生への支援について、下記プログラムを設け、それぞれ各1団体を選定し、その活動に対して助成することとしました。

No	法人格	団体名	設立	活動拠点 (代表者名)	支援の内容	資金使途	配分額
----	-----	-----	----	----------------	-------	------	-----

【プログラムA】会津若松市内への避難学生(高校生)支援(団体指定)

1	公財	会津育英会	1901年	福島県 (長谷川守夫)	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災(原発被災を含む)に被災し、会津若松市内高校(8校)に通学する高校生が大学または専門学校に進学する場合、入学金その他入学準備の費用として給付する。 ・1年2名、1人30万円、3年間で延べ6名への支援。 	大学進学時の入学金その他準備費用	1,800,000
小計							1,800,000

【プログラムB】被災3県フリースクールに通う高校生のうち、進学意欲のある者への学習・教育支援(公募)

1	特活	ビーンズふくしま	1999年	福島県 (若月ちよ)	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県内の高校生もしくは高校中退・未入学者で概ね15歳～18歳の年齢のものうち、震災の影響もしくは震災後の避難等が影響して不登校や就学に困難をきたしているもので、フリースクールを利用しながら進学を目指す意欲を持つものへの支援。 ・1年5名、1人10万円、3年間で延べ15名への支援。 	高卒認定試験受験費用、学習指導用教材、補講講座受講料、交通費等	1,500,000
小計							1,500,000

【プログラムC】被災地高校生による社会的課題解決型課外学習への支援(公募)

1	一社	気仙沼仕事創出プロジェクト	2012年	宮城県 (茂木正光)	<ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼の高校生を対象とするフードマイスター講座。地元の水産加工業を知り、水産加工品の東京圏への販売開拓ができる人材となるための実践的なマーケティング講座を開催し、解決策を自ら考えとともに、気仙沼における社会的課題である「求職と産業」のミスマッチを解決するための一歩とする。すなわち、消費者のニーズに基づいて商品開発し販路を開拓するというマーケティング人材となるための支援。東陵高等学校生徒約20名(1～3年生)を対象。 ・1年1件40万円、3年で延べ3件、計120万円の支援。 	交通費、宿泊費、講師謝礼、印刷費等	1,200,000
小計							1,200,000
合計							4,500,000